

## メイン企画1の紹介 講演「ユマニチュード」

高齢社会を迎えた日本では、質の高いケアを相手に受け取ってもらうための技術が求められるようになりました。とりわけ、脆弱な高齢者や認知機能の低下した方々へのケアを行うにあたって、現場ではさまざまな困難に直面しています。この問題の解決策のひとつとして、国立病院機構東京医療センターなどさまざまな医療・介護施設において「ユマニチュード®」の臨床導入の試みが始まりました。フランスで38年の実績をもつこのケア技法は「ケアをする人とは何か」、「人とは何か」を問う哲学と、言語・非言語によるコミュニケーション技法に基づいた実践的な技術で構成され、ケア対象者のみならず、ケアを実施する側にもさまざまな変化をもたらしています。

今回の講演では、このケア技法の全体像を実例の映像を交えつつご紹介いたします。



ユマニチュードを臨床導入  
されたジネスト先生

## 講師

# 本田 美和子 先生



### 講師紹介

ジネスト・マレスコッティ研究所 日本支部 代表  
独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 総合内科  
医長  
1993年 筑波大学医学専門学群卒業  
1993年 国立東京第二病院（現・国立病院機構 東京医療センター）内科  
1995年 医療法人鉄蕉会・亀田総合病院 総合内科  
1997年 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター  
1998年 米国トマスジェファソン大学 内科  
2001年 米国コーネル大学 老年医学科  
2002年 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター  
2011年 国立病院機構東京医療センター 総合内科医長  
2014年 同 政策医療企画研究部・医療経営情報・高齢者ケア研究室 室長兼任